

平成28年度碧南市市民活動センター指定管理者審査委員会

日 時 平成28年6月9日(木)
午前9時30分から
場 所 へきなん福祉センターあいくる
会議室1

1 あいさつ

2 議題

(1) 平成27年度市民活動センター事業報告及び決算について

(2) 平成28年度市民活動センター事業計画及び予算について

3 その他

平成27年度
碧南市市民活動センター
サポブラ
指定管理事業完了報告書



(碧南市指定管理者審査会用)

平成28年6月9日

特定非営利活動法人 愛知ネット

碧南市市民活動センター【サポプラ】

センター概要

場 所： 碧南市山神町8丁目35番地
へきなん福祉センターあいくる内

電 話： 0566-42-6561

ファクス： 0566-42-6571

E-MAIL: info@hekinan-plaza.jp

ホームページ: <http://hekinan-plaza.jp>

開館時間 火～土曜日 9時～21時

日曜日・休日 9時～17時

休館日：毎週月曜日、

年末年始(12月29日～1月3日)

主な施設：ミーティングコーナー、おしゃべりコーナー、情報コーナー、印刷室



I. センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1) 業務名： 碧南市市民活動センター指定管理業務

(2) 事業の目的:利用者をはじめとした市民ニーズの把握及びこれを十分に反映した運営・支援を実現し、市民に必要な情報提供等を行うことで、市民活動センターが市民活動、ボランティア活動、町内会活動等(以下「市民活動等」という。)を支援することを目的とする。

(3) 実施期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

(受託期間:平成31年3月31日まで)

2. 碧南市市民活動センターの主要事業

(1)市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談

(2)市民活動等及び活動資金に関する助言

(3)市民活動等に関する研修会及び講座の実施

(4)市民活動等に関する活動場所及び設備の提供

(5)市民活動等を担う人材の育成

(6)市民活動等を行う市民相互の連携及び交流の促進

(7)災害時のボランティアセンター設置時における社会福祉協議会との連携および運営支援

(8)(1)から(7)に掲げるもののほか、市民活動等の推進に必要と認める支援等

II. 目標・重点施策と実績

■ねらい・目標・重点施策

ねらい

市民活動団体・個人からの相談に対応し、相互の連携・協働に寄与し、市民から信頼される。

目 標

- (1)相談件数 500件以上
- (2)マッチング件数 147件以上
- (※)利用者数 目標値としては定めず、実績を参考値として取り扱う

重点施策

- (1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う
- (2)団体・個人のスキル向上を積極的に支援する
- (3)企業、行政、自治会、他団体との連携・協働を促す

■目標と実績

項目	利用者 合計	相談 件数	マッ チ ン グ 件 数	MET 利 用 件 数	印刷室 利 用 件 数	登録 団 体 数
15年度 実績値	9,271	506	148	365	109	182
対前年同期比	137%	106%	106%	124%	82%	-
目標達成率	-	101%	101%	-	-	-
年間 目標値		500	147	-	-	-
14年度 実績値	6,777	477	140	294	135	160
13年度 実績値	4,896	285	116	511	125	119

※14年度利用者合計欄では、4月オープンデイ：360名、6月あいくるまつり：3,000名、10月ハロウィーン：856名、3月3.11を忘れない@へきなん：490名を差し引いて表示してあります。これらを加味すると利用者合計は11,483名となります。

※15年度利用者合計欄では、6月28日のあいくるまつり：3,000名と10月25日のハロウィーンウォーク：800名と3.11を忘れない@へきなん：680名を差し引いて表示してあります。これらを加味すると、利用者合計は13,751名となります。

Ⅲ. 実施したイベント

■ 車座集会

1. やってみようよ！ボランティア

日 時: 2015年4月16日(木)19:00~20:30
場 所: へきなん福祉センターあいくる第1会議室
講 師: 日本ボランティアコーディネーター協会
鈴木盈宏(みつひろ)氏

参加者: 14名

概 要: ボランティアをすることで、「成長できる!」「出会い・感動・発見がある!」「自己肯定感を持てる!」など、心にズバツとくるお話をいただきました。後半は、のコミュニケーションタイム!「企業とつながるにはどうしたらいい?」「ボランティアコーディネートするときの心得は?」「継続してボランティアさんに来ていただくにはどうしたらいい?」などのご質問におこたえいただきました。



2. リサイクルからリユースへ

日 時: 2015年7月17日(金)19:00~20:30
場 所: へきなん福祉センターあいくる第1会議室
講 師: NPO法人中部リサイクル運動市民の会
副代表理事 和喜田恵介氏

参加者: 17名

概 要: イギリスでのチャリティーショップを視察した際のお話を中心に、中部リサイクル運動市民の会が、これまでのリサイクルからリユースへのかじ取りをされている状況を聞きました。みなさん、ご自分の活動の中で、リユースできることを見つけて活動していこうという気持ちになりました。



3. 防災、今できること

日 時: 2015年7月31日(金)10:00~11:30
場 所: へきなん福祉センターあいくる第1会議室
講 師: 名古屋大学減災連携センター
防災教育アドバイザー 近藤ひろ子氏

参加者: 19名

概 要: こんな「行動」をとると「命」が助かるよという、目からウロコのお話がいっぱいありました。大きな地震がおこったら正座してだんごむしさんのポーズをする。地震がおさまってから階段を下りて避難するとき、余震がくるかもしれないから気をつけようってことが分かりました。



4. 震災とIT

日 時: 2015年9月26日(土)17:30~19:30
場 所: へきなん福祉センターあいくる第1会議室
講 師: 慶應義塾大学特任准教授 田代光輝氏
参加者: 15名

概 要: 東日本大震災の時「想いでサルベージ」プロジェクト、被災地でのパソコン教室など、実体験のお話をお伺いしました。参加者の皆さん、全員が先生のお話に引き込まれ、実際に現地で体験してきたような錯覚を覚えました。被災地で学んだことを、これからのまちづくりに活かしていかなければならない。そんな力強い言葉が印象的でした。



5. アートとデザインとボランティア

日 時:2015年11月21日(土)15:30~17:00

場 所:碧南市市民活動センター ルームB

講 師:夕星文庫代表小泉朋久氏、絵本作家吉田和音氏

参加者:21名

概 要:小泉さんと吉田さんは、全国の市民活動センターなどを回った時にいろいろと経験したことを中心に、地域や市民の皆さんの課題を取り上げ、ライブペイントを通して広報する活動を展開されています。そんな活動のお話ばかりではなく、今回の講座のために作っていただいた郵便絵本の話や、吉田さんによるライブペイントの実演に、参加者の皆さん興味津々でした。講座の中で書き上げた吉田さんのライブペイントの読み聞かせの時間は、ちょっと楽しい時間でした。



6. 科学実験キャラバン隊

～体験を通して学ぶシニアのボランティア～

日 時:2016年1月22日(金)18:30~20:00

場 所:碧南市市民活動センター ルームB

講 師:赤堀隆氏(愛知こどもの国理事長、白百合学園理事
長・校長、元西尾市教育長、元愛知県青年の家所長)

参加者:15名

概 要:「生きるために働く必要がなくなった人は、人生の目的を真剣に考えなければならない。」という赤堀さんのお話をお聞きしました。段ボールをたたいて、煙を発射!紙コップと輪ゴムで工作したしかけに、大笑い!大人も子どもも大喜び、笑い声が響き渡るステキな車座集会となりました。



7. 南海トラフ巨大地震!そのとき、あなたは どうする?

～防災局に聞いてみよう～

日 時:2016年3月5日(土)10:00~11:30

講 師:愛知県防災局政策・企画グループ

課長補佐 川島 洋和氏

参加者:20名

8. 小さい命を守る!巨大地震への備え

～黄金の72時間を知っていますか～

日 時:2016年3月5日(土)13:30~15:00

講 師:愛知県防災局啓発グループ

主事 延時 雄大さん

参加者:16名

場 所:へきなん福祉センターあいくる会議室

概 要:愛知県県政お届け講座の中から「愛知県の地震防災対策について」と「防災・減災お役立ちガイド」を、「3.11を忘れない@へきなん」の講座として、防災・災害救援に興味関心の高い方々、地震に対する備えを学びたい方々をそれぞれ対象にして、2つ開講しました。講師である川島氏や延時氏の話し方は、わかりやすく、誰もが真剣に聞き入っていました。質問や意見をたくさんいただき、南海トラフ巨大地震が発生した際にどのように対応したらよいかを考えるきっかけとなりました。



9. 補助金を上手に使おう！

～みなさんの市民活動を応援します～

日 時:2016年3月13日(日)10:00～11:30

場 所:へきなん福祉センターあいくる会議室

講 師:碧南市地域協働課(河原氏、菅沼氏)

参加者:12名

概 要:今年度補助金をいただくことができた団体さんと、補助金を申請してみようかなと考えている団体さんに集まっていただきました。市民公益活動活性化補助金って、どういう団体が、どんなふうを活用しているんだろうね。こんな疑問に、具体的に答えていただくワークショップ形式で開催しました。市民活動って、結構経費が掛かるんだよね。補助金の申請って面倒なの・・・という声が交わされていました。時間がたつのも忘れて、熱のこもった議論ができました。



■スキルアップ講座

1. オリーブで手作り石鹸に挑戦

日 時:2015年5月9日

場 所:へきなん福祉センターあいくる2F 調理実習室

講 師:竹原幸子氏

参加者:12名

概 要:コールドプロセス法での石鹸作りを体験しました。事前に準備するものが多く、劇薬の苛性ソーダを扱ったりしたのですが、講師の竹原先生を囲んで、楽しく作業が進みました。牛乳パックに流し込んだ石鹸が固まるまでには、かなり時間がかかりましたが、自分の石鹸ができたことがうれしそうでした。



2. 折り紙ミニ講座(講師に挑戦)

日 時:2015年7月31日(金)10:00～11:30

場 所:碧南市市民活動センター ルームB

講 師:斎藤まさ子氏(折り紙倶楽部)

参加者:13名

概 要:この講座は、登録団体に「講師に挑戦」していただくという企画です。講師の斎藤さん指導を受け、くじら、イカ、カニ、魚、貝、海藻など、色々な種類の折り紙を、熱心につ作っていました。仕上げは色画用紙に、一生懸命どこに何を貼ろうか考えながら貼っていきました。これで、マイ水族館の出来上がりです。これで夏休みの宿題も万全です。



3. 夏休み子どもポスター教室(講師に挑戦)

日 時:2015年8月2日(日)12:30～16:30

場 所:碧南市市民活動センター ルームB

講 師:古久根 幹氏、稲垣 可愛氏(黄色い子とり)

参加者:19名

概 要:この講座は、登録団体に「講師に挑戦」していただくという企画です。夏休みの宿題に挑戦の第2弾。あらかじめテーマや構図を決めてきた子、ここに来てから先生に相談している子、いろいろな子が、それぞれ思い思いの絵をかいています。とても面白そうなので、こっそりと手を出しているお母さんもいますよ。



4. チラシ作りに挑戦!

日時:2015年8月22日(土)13:00~14:30

場所:へきなん福祉センターあいくる第1会議室

講師:株式会社 meets 取締役社長小島 祥次氏

参加者:9名

概要:パソコンをどう上手く駆使してチラシをつくるかという技術論ではなく、人の足を止めさせるポスターや、納得して読んでもらえるチラシをつくるには、全体における文字の大小と図・デザインの構造がとても重要である、中でも「ことばの力」、日常会話の延長上のことばが大きな位置を占めることを、色々な具体例を挙げながらお話していただきました。楽しく面白い講座となってみなさん充分納得したようです。



5. デジカメデータ活用術 初級編

日時:2015年10月24日(土)13:00~14:30

場所:碧南市市民活動センター ルームB

講師:市民活動センター センター長大野裕史

参加者:6名

概要:家族連れで出かける時の必需品はデジカメ。ところが写真を撮ったら撮りっぱなしのまま。一度見たらそれで終わりというパターンが多いのではないのでしょうか?今日の講座は、撮った写真にチョット手を加えたらどうなるのか、その加工で「変身」した写真をどのように利用出来るのかを分かり易く指導してくれるものでした。「面白かった~、役に立った~!」と言う受講者の皆さんの声に、講師も励まされました。



6. 冬のたのしい折り紙講座

日時:2015年12月3日(木)10:00~12:00

場所:碧南市市民活動センター ルームB

講師:折り紙倶楽部(登録団体)のみなさん(5名)

参加者:15名

概要:今回は「講師に挑戦」企画の講座です。講師のみなさん5名と参加者は15名が参加しました。苦戦しながらも和やかに楽しみなだら、みなさん完成までたどりつくことが出来ました。今回はクリスマスの時期ということで、クリスマスの星(立体)とカード入れを教わりました。折り紙がカラフルでとってもかわいく仕上がりました。これからの時期、パーティーなどで披露できますね!



■その他イベント

1. 第2回あいくるまつり

日時:2015年6月28日(日)

場所:へきなん福祉センターあいくる

参加団体:43団体、65企画

参加ボランティア:51名

来場者:3,000名

概要:今年は天気もよく、来場者の皆さんも展示ブースや体験コーナー、パフォーマンス、飲食ブースなどを満喫していました。来場者数は、昨年と同じ3,000人との発表がありました。

まちかどホールのパフォーマンス会場では、10組の演技・演奏があり、580人余りの方が参加されました。2Fのダイルームでのパフォーマンスは、笑ヨガ、盲人卓球、バルーンで124名の方が参加されました。会議室では4つの講座が開講され、75名の方が参加されました。

つなぎつながるみんなの手には、165名の方が想いを書いてくださいました。また、団体さんを応援するための「いいねシール」はで310名の方が参加してくださいました。



2. 第1～7回まちづくりの担い手育成講座

日時:2015年9月16日(水)、10月4日(水)

11月11日(水)、12月12日(土)、1月16日(土)

2月14日(日) 10:00～16:00

3月20日(日) 13:00～16:30

場所:へきなん福祉センターあいくる まちかどホール
棚尾公民館(3月20日)

講師:一般社団法人会議ファシリテーター普及協会
代表釘山健一氏、副代表小野寺郷子氏他

参加者:43名

概要:「気楽で」、「楽しい」、しかし「中身は濃い」をめざす、楽しい会議による楽しいまちづくり連続講座が始まりました。それぞれの回のタイトルは、以下の通り。

第1回:協働のまちづくり(初級)

第2回:会議ファシリテーション(初級)

第3回:会議ファシリテーション(中級)

第4回:市民活動力アップ

第5回:協働のまちづくり(中級)

第6回:サロン開催実践編

第7回:棚尾地区の楽しい街づくりを考えるサロン

この講座では、通常のように開会のあいさつから始まる・・・なんてことはなくて、パフォーマンス、アイスブレイクで参加者みんなの笑顔から始まります。

第1回目と5回目は、協働のまちづくり編。みなさん、まちづくりの会議を、いろいろと体験していただきました。第2回目、3回目は会議ファシリテーターの役割、進行、話し方などなど内容もとても濃いものでした。第4回目は、市民活動力をアップさせる極意を伝授していただきました。それまでに習得した内容を実践するため、第6回でサロンを開催するノウハウを学び、最後は一般の参加者も含め、実際に棚尾公民館でサロンを開催することができました。



3. へきなん自転車散歩

日時:2015年11月28日(土) 10:00~16:00

場所:へきなん福祉センターあいくる

運営:へきなん自転車散歩実行委員会

参加者:59名 運営者・ボランティア:99名

概要:好天に恵まれた秋の日、朝早くから明石公園第2駐車場(スタート地点)に大勢の参加者が集まりました。禰宜田市長の挨拶に始まり、スタート前に記念写真をパチリ。28kmのへきなん周回コースにスタートしていきました。コース途中では、ボランティアさんが案内をしたり、休憩ポイントではおお出迎えをしたりして、参加者の皆さんと一緒に楽しむことができました。ゴール地点のあいくるでは、スタートで撮影した写真を焼き増しし、参加証の代わりにお渡ししました。冷えた体には、あついでん汁やへきなん焼きそばがふるまわれ、みなさん一息ついていらっしゃいました。

参加者の方、ボランティアの皆さんから、来年また参加したいね・・・という声をお聞きすることができ、実行委員一同ホットしました。皆さんの気持ちは、来年の開催に向け動き始めたようです。



4. ワンコイン ゴスペルミニコンサート

日時:2015年12月13日(日) 14:30~16:00

場所:へきなん福祉センターあいくる まちかどホール

運営:コーラス提供はワンボイス碧南・高浜のみなさん

ケーキの提供は人材バンク登録の石川さん

コーヒー提供は登録団体「ほっとCafe」の亀島さん

参加者:64名

概要:誰もが知っているあの「Amazing grace」から始まり、4曲終わったところで「みんなで歌おう X'mas Song」、「きよしこの夜」、「ジングルベル」を、会場の皆さんと一緒に元気いっぱいに歌いました。そのあと、ワンボイスさんのコーラスに移り、最後は「The worship medley」で終わりました。歌い終わった後は、皆さん全員一緒になって美味しいケーキと香り高さドリップコーヒー、ジュースを堪能しました。皆さんサポプラに登録いただいている方々で、素敵なコラボレーションで素晴らしいイベントが出来ました。



5. サポプラ交流会【つながり輪(リン)】

日時:2016年2月21日(日) 14:00~16:00

場所:へきなん福祉センターあいくる まちかどホール

参加者:45名(参加者37名、ボランティア・スタッフ8名)

概要:サポプラ交流会2回目の今年は、

- ・アイスブレイク(笑いヨガ)
- ・お見合い回転ずし(自己紹介と団体のPR)
- ・お汁粉タイム
- ・フリータイム・マッチングタイム

と、盛りだくさんの内容でした。お見合い回転ずしでは、短い時間ではあったが、全員と自己紹介することができました。そんな中で、お互いに「できること」と「してほしいこと」が見事につながった事例がその場で4件、後日2件の合計6件のマッチングができました。



6. 3.11を忘れない@へきなん

日時:2016年3月5日(土) 10:00~17:00

場所:碧南市市民活動センター

運営:3.11を忘れない@へきなん実行委員会

参加者:のべ680名(講座、物産市、炊き出し体験など)

概要:碧南から「鎮魂」の想い、「3.11を忘れない」という想いを東北に届けるとともに、私たちが近い将来経験するかもしれない南海トラフ巨大地震について考えることを目的にこのイベントを開催しました。防災・災害救援の活動を紹介しながら、来場者とのコミュニケーションを図りました。

七福醸造さんのつゆを使用した三河風うどん100杯を、炊き出し訓練として提供し、1杯につき100円のご寄付をいただきました。同時に協力団体である碧南防災ボランティア連絡会が、五平餅を提供し、こちらも1本につき100円のご寄付をいただきました。チャリティー東北物産展を担当した、新川銀座発展会のみなさんのご協力により、東北の名物30品目を取り揃え、収益を全額ご寄付いただきました。その結果、100,304円を塩竈観光協会様を通して、被災者の方々に寄付させていただきました。また、来場者や学童保育の児童たちに、ペットボトルの筒に絵を描いてもらい「3.11を忘れない」の想いをこめて、ハート形に配置したキャンドルを灯しました。

3.11を忘れない@へきなん実行委員会・協力団体さんの方々、皆さんのお力でのべ680名の方々が参加してくださいました！！

皆さまの、温かいお気持ち本当にありがとうございます感謝です。



■メルマガ・サポプラ通信の発行

<p>1. メルマガ発行(毎月発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2016年3月号 発信数:300通 ● 2016年2月号 発信数:298通 ● 2016年1月号 発信数:297通 ● 2016年1月臨時増刊号 発信数:297通 ● 2015年12月号 発信数:296通 ● 2015年11月号 発信数:296通 ● 2015年10月号 発信数:294通 ● 2015年10月臨時増刊号 発信数:291通 ● 2015年9月号 発信数:290通 ● 2015年9月臨時増刊号 発信数:290通 ● 2015年8月号 発信数:287通 ● 2015年7月号 発信数:285通 ● 2015年6月号 発信数:281通 ● 2015年5月臨時増刊号 発信数:279通 ● 2015年5月号 発信数:279通 ● 2015年4月号 発信数:277通 	<p>碧南市市民活動センター</p> <p>メールマガジン 2015年6月号</p> <p>碧南市のボランティア・市民活動の最新情報をお送りします！</p> <p>※ 興味のある方、お知り合いの方への転載・転送大歓迎！</p> <p>☆☆～木々の緑もようやく深く入り梅入りと発表されました。雨に洗われて、紫陽花の色が鮮やかです☆☆</p> <p>このメルマガは登録団体をはじめ、各関係者やボランティアの皆さんに、碧南市市民活動センターの「最新情報」をお届けします。毎月15日を目処に発信しています。</p> <p><メルマガ配信者数281> ※バックナンバーを設置しました。過去の記事はこちらへどうぞ！ http://hekinan-plaza.jp/mail_mas.htm</p> <p>つなぎ つながる みんなの手</p> <p>みんなで手をつなげば、ボランティア活動・市民活動がひろがる・・・。</p> <p>そんな思いで、「つなぎ つながる みんなの手」をテーマにしています。</p> <p>☆ご来館の皆さんに描いて頂いた作品を、サポプラに掲載しています。</p> <p>も く じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ センターからのお知らせ ■ 講座・集会のご案内 ■ 助成金情報 ■ センター概要
<p>2. サポプラ通信発行(隔月発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2016年2月 第74号 ● 2015年12月 第73号 ● 2015年10月 第72号 ● 2015年8月 第71号 ● 2015年6月 第70号 ● 2015年4月 第69号 	

IV.まとめ

本年度の利用者実績は、昨年度に比較して137%となった。昨年度上半期の利用者実績の推移をみると、それまでに比較して利用者数、会議室利用実績が伸び悩む傾向を示した。これに比較して、本年度は通年を通して、毎月の利用者が昨年度を超える結果を示した。これは、旧ボランティアサポートプラザを利用していた団体から、新市民活動センターを利用する団体への移行が進み始めたのか、ご利用いただく団体の切り替わりが進み、利用実績を伸ばすことができたのではないかと推察できる。しかしながら、ミーティングや作業室の実績は、利用実績に比較してまだまだ伸びているとは言えない状況にある。また、相談件数、マッチング件数については、通年の目標をどうにか達成できたという状況である。来期以降、ミーティングや作業室の利用および相談やマッチングの推進を積極的に図っていく必要があるであろう。

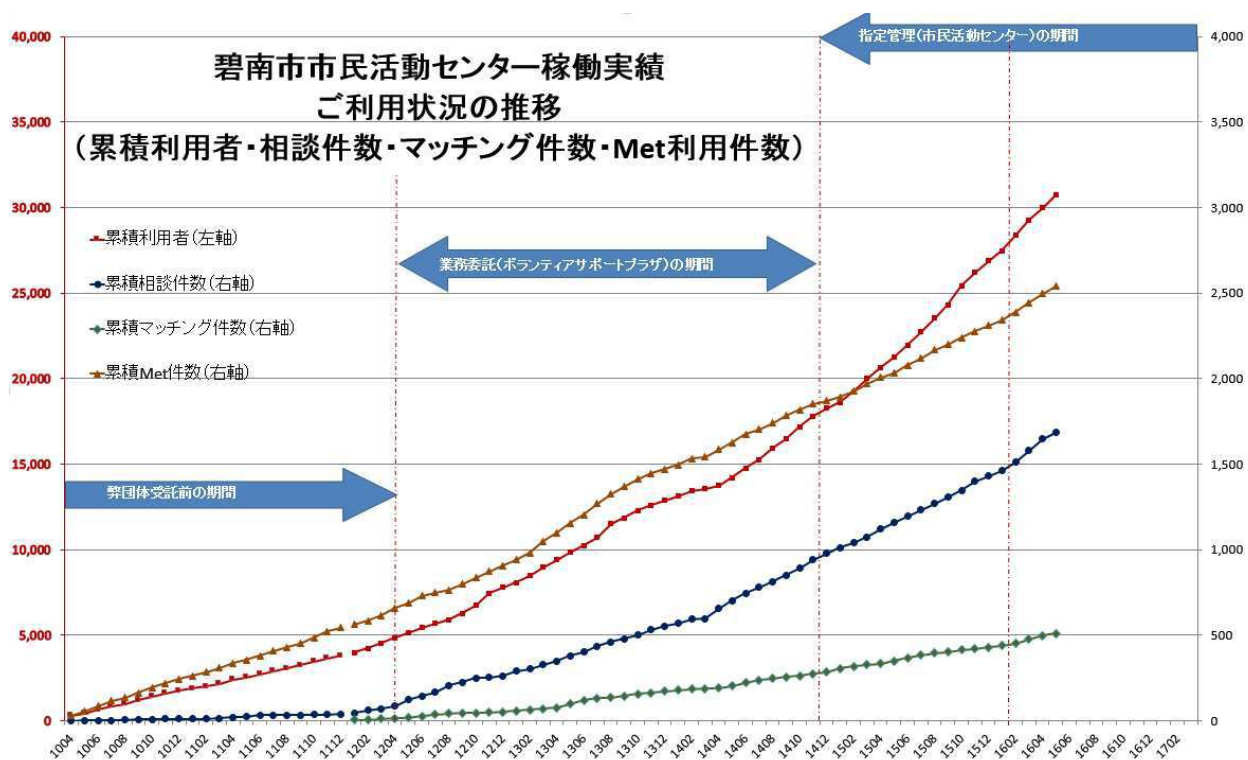
へきなん自転車散歩を、11月28日に開催することができた。好天に恵まれ、スタート時点では禰宜田市長の挨拶をいただくことができた。6月に始めた実行委員会は、実施後の反省会を含め12回を数え、委員全

員が充実した会議を持つことができた。参加者は59名(当日のキャンセル4名を除き)、運営者側の実行委員とボランティアの99名、合計158名が参加した。昨年度の「3.11を忘れない@へきなん実行委員会」に続き、2つ目の実行委員会の運営となった。今年度の実行委員会には、企業、行政の方にも参画していただいている。

まちづくりの担い手講座は、第4四半期で3回開催した。とくに第6回目と第7回目は、サロンの開催を実践するための場として位置づけられており、具体的に棚尾公民館で「棚尾地区の楽しいまちづくりを考えるサロン」を、受講生を中心に開催することができた。これは、今後まちづくりの担い手の方々が活躍する場を整備していくうえで、重要なポイントとなるであろう。来期以降につなげていきたいと考えている。

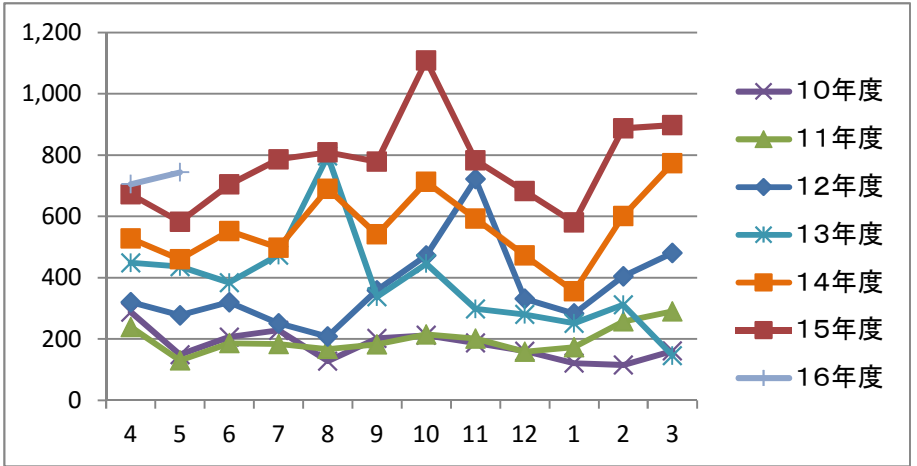
実行委員会形式で進める「3.11を忘れない@へきなん」を、今年度も開催することができた。チャリティー東北物産売り上げ、炊き出し訓練(うどん、五平餅)への寄付を合わせ、100,304円を塩竈観光協会様を通して、被災者の方々に寄付させていただくことができた。ひとえに、実行委員、協力団体の皆様のご協力の成果である。今年度から実施した自転車散歩と、3.11を忘れない@へきなんとは、今後も継続して実行委員会形式で、継続して開催していきたいと考えている。

■ 碧南市市民活動センター稼働実績(累積)の推移



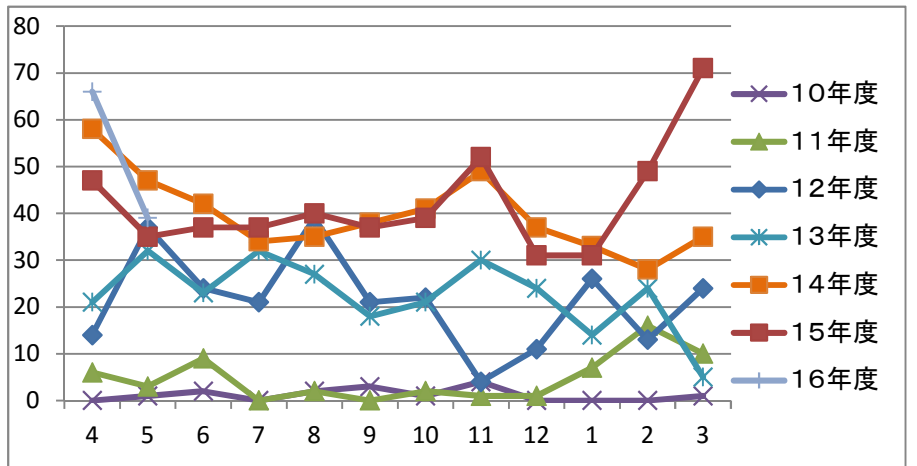
利用者数 17,137 <=1404からの累積利用者数

月度	13年度	14年度	15年度	16年度
4	449	528	672	705
5	436	460	582	744
6	384	552	704	0
7	474	498	786	0
8	797	690	809	0
9	338	541	779	0
10	446	713	1,109	0
11	298	593	783	0
12	280	473	682	0
1	251	355	580	0
2	312	601	887	0
3	146	773	898	0
合計	4,611	6777	9,271	1449



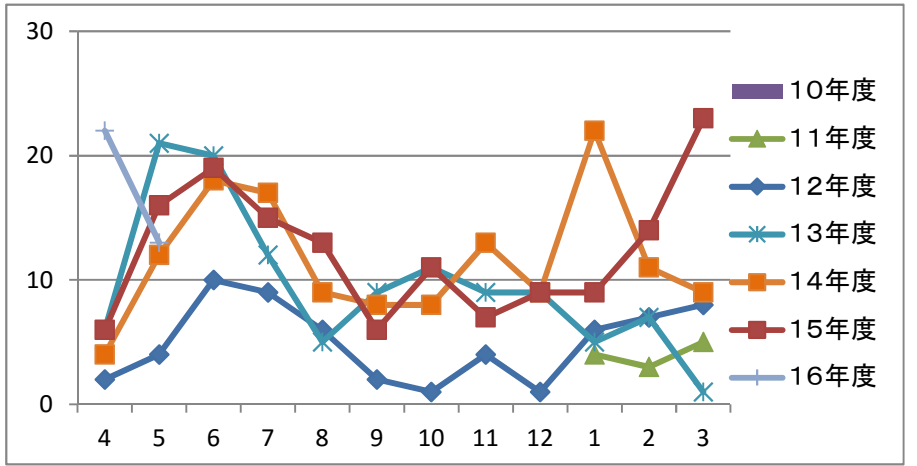
相談件数

月度	13年度	14年度	15年度	16年度
4	21	58	47	66
5	32	47	35	39
6	23	42	37	0
7	32	34	37	0
8	27	35	40	0
9	18	38	37	0
10	21	41	39	0
11	30	49	52	0
12	24	37	31	0
1	14	33	31	0
2	24	28	49	0
3	5	35	71	0
合計	271	477	506	105



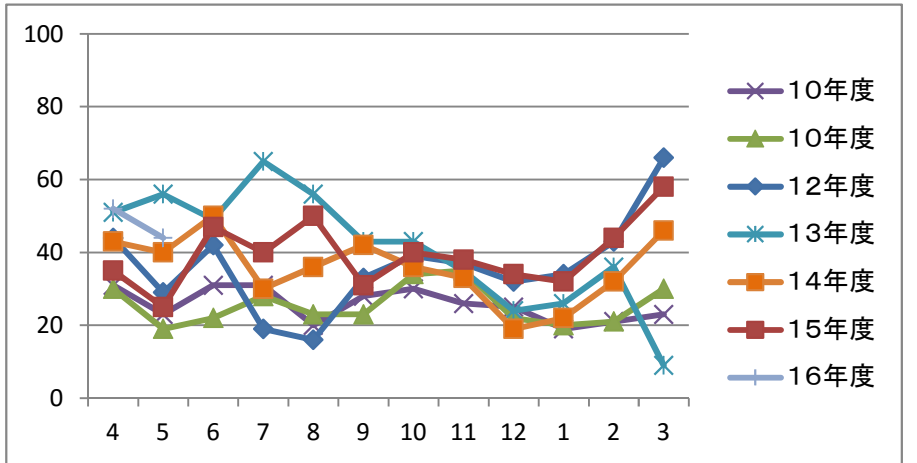
マッチング件数

月度	13年度	14年度	15年度	16年度
4	6	4	6	22
5	21	12	16	13
6	20	18	19	0
7	12	17	15	0
8	5	9	13	0
9	9	8	6	0
10	11	8	11	0
11	9	13	7	0
12	9	9	9	0
1	5	22	9	0
2	7	11	14	0
3	1	9	23	0
合計	115	140	148	35

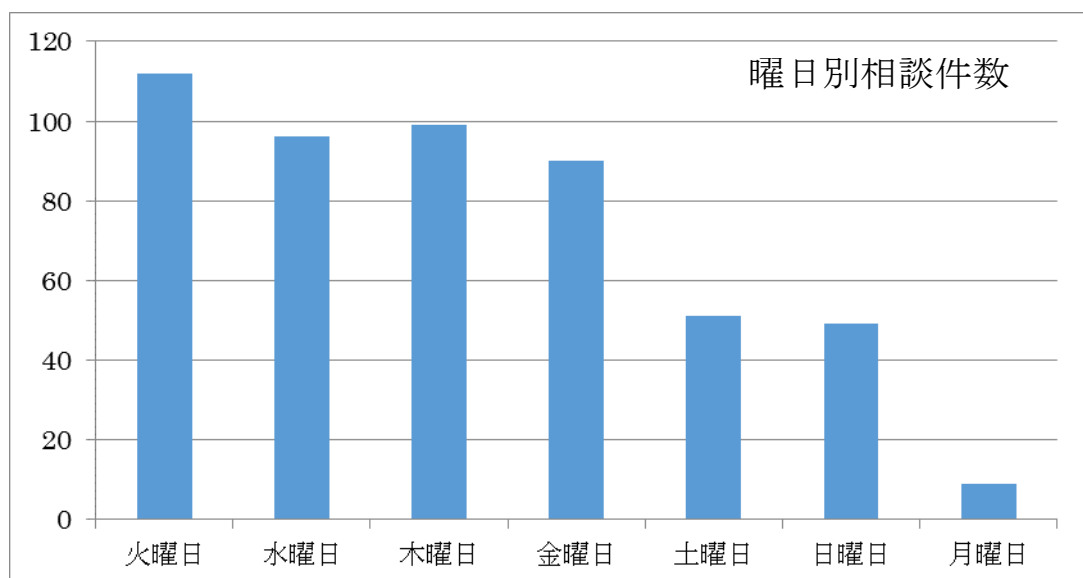
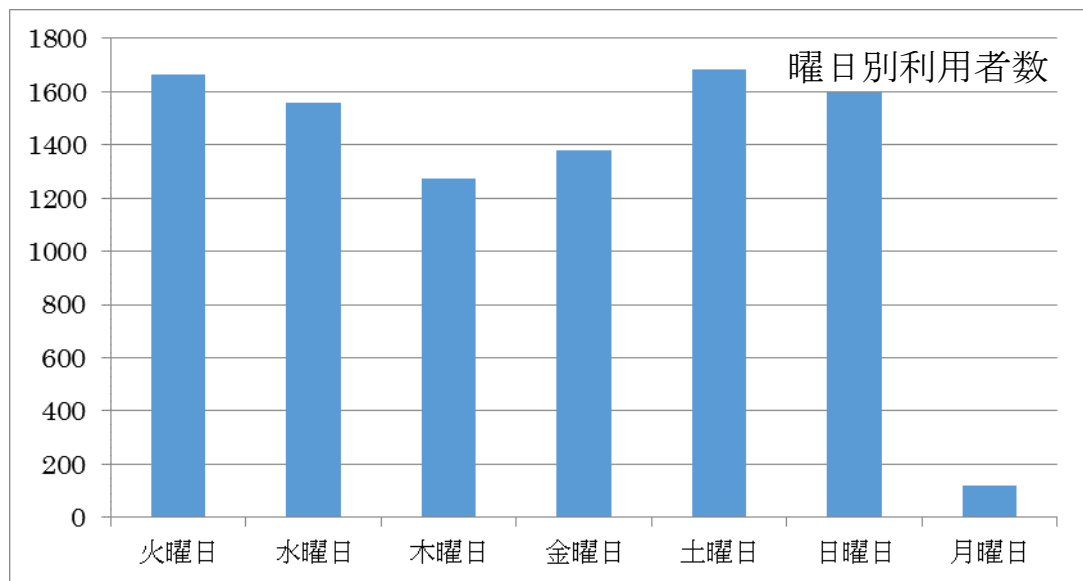
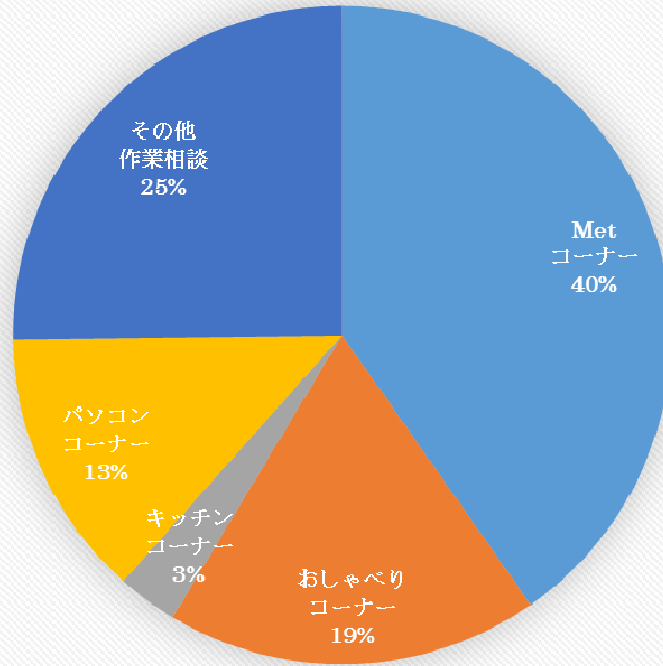


Metコーナー利用+印刷室利用件数

月度	13年度	14年度	15年度	16年度
4	51	43	35	52
5	56	40	25	44
6	49	50	47	0
7	65	30	40	0
8	56	36	50	0
9	43	42	31	0
10	43	36	40	0
11	35	33	38	0
12	24	19	34	0
1	26	22	32	0
2	36	32	44	0
3	9	46	58	0
合計	493	429	474	96



サポプラ コーナー別利用者数



■碧南市市民活動センター 収支実績

区分		予算	H26実績	H27実績	各費用項目
人件費(A)		12,448,100	10,059,308	11,503,981	給与手当、通勤手当、出張手当、福利厚生費、研修費
	消耗品費	1,234,300	591,567	360,237	事務用品・日用品代、コピー用紙代、インク・マスター・トナー等料金、新聞代
	通信費	154,300	136,337	181,406	郵便代、メール便代、電話料金
	保険料	123,400	0	7,366	賠償責任保険料、行事保険料など
	その他	0	476,673	721,849	コピー・印刷代、修繕費、振り込み料金、清掃料金など
事務管理費(B)		1,512,000	1,204,577	1,270,858	
	講師謝礼	123,400	70,163	101,411	講師謝金、交通費
	イベント運営費	565,700	263,801	273,773	印刷代、会場代、事務用品、運営協力金
	その他	0	95,548	0	
事業費(C)		689,100	429,512	375,184	
	使用賃借料	360,000	123,588	119,700	印刷機リース代、インターネットサーバー代、保守メンテ料など
	一般管理費	3,155,800	6,339,134	4,913,438	※下記一般管理費の内訳項目および別紙参照
その他(D)		3,515,800	6,462,722	5,033,138	
支出合計(A+B+C+D)		18,165,000	18,156,119	18,183,161	

区分		予算	H26実績	H27実績
指定管理料		18,000,000	18,000,000	18,000,000
	コピー収入	65,000		
	参加費収入	100,000		
事業収入		165,000	156,119	183,161
収入合計		18,165,000	18,156,119	18,183,161

■各費用項目：一般管理費の内訳項目

福利厚生費、退職積立金、
事務所費用分担金
家賃、水道光熱費、事務用品費、通信費、広告宣伝費、
寄付金、減価償却費、事務職員人件費、弁護士費用、
会計士費用、社労士費用 他

別表1 回収すべきコストと積算の状況

カテゴリー	具体的なコストの内容	積算の状況
事業費	1. 事業スタッフの賃金 2. 事業に使用する電話・FAX・郵送費 3. 事業に使用する建物の(帰属)家賃 4. 事業に直接必要な水道光熱費 5. 事業に直接必要な消耗備品費 6. 事業に直接必要な旅費交通費	積算に考慮されることが多い
	7. 事業スタッフの法定福利費 8. 事業に関連して生じる租税公課 9. 事業に関連して生じる保険料 10. 事業に直接必要な事務用機器 11. 事業に直接必要な資産の維持管理費 12. 事業スタッフの採用コスト 13. 事業に直接必要な銀行手数料 14. 事業に直接必要な施設の清掃費 15. 事業に直接必要な資産の減価償却	
	直接サポート費用 (direct support costs) : アウトプットを直接的にサポートする活動に関わるコスト 1. 管理者及び事務員の賃金及び法定福利費 2. 補助業務に使用する電話・FAX・郵送費 3. 補助業務に使用する建物の(帰属)家賃 4. 補助業務に必要な水道光熱費 5. 補助業務に関連して生じる租税公課 6. 補助業務に関連して生じる保険料 7. 補助業務に必要な消耗備品費 8. 補助業務に必要な事務用機器 9. 補助業務に必要な資産の維持管理費 10. 補助スタッフの採用コスト 11. 事業に必要な資金の調達コスト 12. 補助業務に必要な施設の清掃費 13. 事業・補助スタッフの教育研修費 14. 補助業務に必要な旅費交通費 15. 広報・出版費 16. 補助業務に必要な資産の減価償却費 17. 専門家の支援を受けるためのコスト	
管理費	1. 本部機能(資金調達, 経営責任者, 財務, 人事, IT)に必要な施設の維持管理費(メンテナンス, 清掃費, 賃貸料, ローン, 減価償却, 管理人件費) 2. 本部スタッフの賃金及び法定福利費 3. 本部機能に必要な旅費交通費 4. 本部機能に必要な事務用機器及び消耗備品費 5. 本部機能に必要な保険料 6. 本部スタッフの教育研修費 7. 本部機能に必要な資産の減価償却 8. 本部機能の外注委託費及びコンサルティング 9. 資金調達スタッフの賃金及び法定福利費 10. 資金調達に使用する電話・FAX・郵送費 11. 資金調達に使用する建物の(帰属)家賃 12. 資金調達に必要な水道光熱費 13. 資金調達に関連して生じる租税公課 14. 資金調達に必要な消耗備品費 15. 資金調達に関連して生じる保険料 16. 資金調達スタッフの教育研修費 17. 資金調達イベントに必要な経費・人件費 18. 資金調達に必要な事務用機器 19. 資金調達に必要な資産の維持管理費 20. 資金調達スタッフの採用コスト 21. 資金調達に必要な銀行手数料 22. 資金調達に必要な旅費交通費 23. 資金調達に必要な資産の減価償却 24. 年次報告書の作成コスト 25. Webサイトの作成・維持費 26. マーケティング・スタッフ及び責任者の賃金及び法定福利費 27. マーケティング経費 28. 資金運用コスト	積算に考慮されることが多い
	間接サポート費用 (indirect support costs) : アウトプットを間接的にサポートする活動に関わるコスト 1. 外部監査・第三者機関によるチェック 2. 専門家(弁護士, 鑑定士, 税理士, 会計士など)への謝礼 3. 金融コスト(利息・決済) 4. 理事会に関する経費 5. 戦略開発コスト 6. 準備金・内部留保	

出所: イギリスの中間支援NPO ACEVOの資料(2002: 148-159)を基に馬場氏分類

別表2 企業に対する行政委託事業の積算基準とNPOに対する取り扱いの比較

項目	説明	積算基準	NPOにとっても積算は必要か	NPOの積算に計上されているか	現状・問題点
人件費	業務に直接従事する者の人件費	職種，経験年数等によって単価を設定	必要	計上されるが，不十分な場合が多い	経験やスキルに応じた人件費を支払うことができない
材料費	業務に直接必要な物品の費用	物価資料等に基づき算定	必要	計上される場合が多い	事業に直接要する分は委託料でカバーされることが多い
旅費交通費	技術者の通勤費，交通費，宿泊費	移動距離や移動手段等に応じて算定	必要	計上される場合が多い	事業に直接要する分は委託料でカバーされることが多い(ただし，ボランティアの分は計上されないことが多い)
打合せ協議	打合せに要する費用	人件費(往復時間旅行時間含む)及び交通費	必要	計上されない ×	協働を推進するためにNPOと行政のコミュニケーションが必要であるが，そのコストがカバーされていない
時間外手当	時間外及び深夜割増手当	割増係数によって算定	必要	計上されない ×	時間外手当を支払える団体は少なく，労働法規上の問題が生じている。
業務管理費 一般管理費	業務に付随する事務職員人件費，水道光熱費，役員報酬，従業員給与手当，退職金，法定福利費，福利厚生費，事務用品費，通信交通費，広告宣伝費，交際費，寄付金，地代家賃，減価償却費，租税公課，保険料，雑費	人件費の120%などといった基準によって算定	必要	全く計上されないか，事業費の10%程度の場合が多い	十分な管理費を確保することができず，団体が発展する機会を阻害している
付加利益	法人税，地方税，株主配当金，内部留保金，支払利息及び割引料，支払保証料，その他の営業外費用		株主配当金を除いて必要	計上されない ×	団体の維持・発展上，内部留保は必要であるが，行政及びNPOともに，その認識は希薄である
技術経費	技術研究費及び専門技術料	作業内容に応じて(直接人件費+諸経費)の20%から40%(特に高度なものは60%)	特別な技術を用いる場合は必要	計上されない ×	NPOのスキルやネットワークを活用した事業を実施しても，積算に反映されない

出所：愛知県調査・設計業務委託積算基準及び歩掛表を参考に馬場氏作成

2016年度碧南市市民活動センター事業計画書

1 団 体 名	(1)団体等名称 特定非営利活動法人 愛知ネット	
	(2)代表者氏名 理事長 天野竹行	
	(3)連絡先 住 所:〒446-0007 愛知県安城市東栄町1-7-22 内藤ビル2F 電 話:0566-98-5352 F A X:0566-98-5565	
2 事 業 名	碧南市市民活動センター指定管理業務	
3 実 施 場 所	愛知県碧南市山神町8丁目35番地	
4 実 施 期 間	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
5 事 業 内 容	目 的 市民活動、ボランティア活動、町内会活動等(以下「市民活動等」という)を支援する。そのために、利用者をはじめとした市民ニーズの把握及びこれを十分に反映した運営・支援が実現できるよう努め、市民に必要な情報提供等を行う。	
	内 容 (1) 市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談 (2) 市民活動等及び活動資金に関する助言 (3) 市民活動等に関する研修会及び講座の実施 (4) 市民活動等に関する活動場所及び設備の提供 (5) 市民活動等を担う人材の育成 (6) 市民活動等を行う市民相互の連携及び交流の促進 (7) 災害時のボランティアセンター設置時における社会福祉協議会との連携及び運営支援	
6 事業実施計画	狙 い 市民活動団体・個人からの相談に対応し、相互の連携・協働に寄与し、市民から信頼される。 目 標 (1)相談件数 530件以上 (2)マッチング件数 155件以上 ※H27年度実績の5%増を目標とする 重点施策 (1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う (2)団体・個人のスキル向上を積極的に支援する (3)企業、行政、自治会、他団体との連携・協働を促す	
	市民活動に関する情報の収集、提供、相談および活動資金に関する助言事業	・登録団体が、イベント開催案内やボランティア募集を、市民情報サイトみなともを利用して展開できるように支援する ・サポプラ通信、メールマガジン、フェイスブック、ホームページなどの媒体を介して、市民が必要とする市民活動・ボランティア活動に関する情報を発信する ・市民からの相談を定常的に受付、必要な応援や支援を行う ・ <u>企業・行政・自治会および他の市民団体との連携のすばらしさに気づき、具体的な連携が進むように、相談や交流会を通して支援を行う</u> ・市民団体に必要なファンドレイジングを、まつりなどのイベントを通して体験できるように支援する
	市民活動に関する研修会、講座の実施および人材の育成に関する事業	・車座集会を年間5回以上開催する ・ <u>スキルアップ講座として「まちづくりの担い手講座」を年間5回以上開催すると同時に、まちづくりの担い手となった方々の活躍する場の発掘を試行する</u> ・登録団体が講座、集会の講師を務めることができるような支援を行う ・センターまつりを開催し、ボランティア活動、市民活動への興味を持っていただけるように働きかける
	災害時のボランティアセンター設置時に関する事業	・社会福祉協議会と連携・協働して、年に1回以上防災・災害救援訓練を実施する ・防災ボランティアコーディネーターの研修を受講したスタッフを複数確保する ・防災、災害救援および日頃の減災に関する講座・集会を、年に1回以上開催する

2016年度 碧南市市民活動センター 事業計画書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	スタッフ・ミーティング (毎週木曜13:00~)	→											
2	メールマガジン (毎月15日発行)	● 4/15発行	企画 → 制作 ● 5/15発行	● 6/15発行	● 7/15発行	● 8/15発行	● 9/15発行	● 10/15発行	● 11/15発行	● 12/15発行	● 1/15発行	● 2/15発行	● 3/15発行
3	サポプラ通信 (年6回発行)	次号企画・台 ●	取材・原稿作成 →	編集・校正 →	● 6/15発行	● 8/15発行		● 10/15発行		● 12/15発行		● 2/15発行	
7	あいくるまつり 開催:7月3日	企画提出:4月 団体打合せ:5月 告知・準備:			●								
4	車座集会 (交流・ネットワーク) 開催:5回/年	● NPO支援						● スポーツ		● 医療・福		● 子育て・地域安	● 補助金関連
5	スキルアップ講座 (講師に挑戦講座)		講座:講師に挑戦 ■						講師に挑戦講 ■		講師に挑戦講 ■		
6	スキルアップ講座 (担い手講座) 開催:5回/年			担い手講座 ●	担い手講座 ●	担い手講座 ●	担い手講座 ●	担い手講座 ●					
7	交流会「つながり」 ※協働について学ぶ									参加団体募集		準備 ●	
8	その他イベント ・自転車散歩 ※実行委員会形式		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			
9	その他イベント ・3.11を忘れない ※実行委員会形式									▲	▲	▲	▲
10	サポプラ運営委員会 開催:2回		運営委員公募・依 →	資料作成 →	●						運営委員出席依頼 →	資料作成 →	●

2016年度 碧南市市民活動センターイベントスケジュール

No	月	日時	区分	分類	タイトル
1	4	4月10日	車座集会①	NPO支援	ツアー！へきなん探訪
2	5	5月28日	スキルアップ講座①	NPO支援	講師に挑戦してみよう
3	6	6月2日	その他イベント	運営委員会	新運営委員紹介
4	6	6月25日 12:30~16:30	スキルアップ講座②	まちづくり	第1回まちづくりの担い手講座 まずは参加型を体験してみよう
5	7	7月3日 9:00~16:00	その他イベント	あいくるまつり	あいくるでつながる みんなの輪
6	7	7月23日 12:30~16:30	スキルアップ講座③	まちづくり	第2回まちづくりの担い手講座 なぜ参加型？
7	8	8月27日 12:30~16:30	スキルアップ講座④	まちづくり	第3回まちづくりの担い手講座 人と人、人とまちをつなぐ企画人になるには？
8	9	9月24日 12:30~16:30	スキルアップ講座⑤	まちづくり	第4回まちづくりの担い手講座 まちづくりの好事例から学ぼう
9	10	10月22日 12:30~16:30	スキルアップ講座⑥	まちづくり	第5回まちづくりの担い手講座 参加型のプログラムで思いをかたちへ
10	10	10月	車座集会②	文化・芸術 スポーツ	未定
11	10	10月/11月	その他イベント	まちづくり	自転車散歩
12	11	11月	講師に挑戦①	文化・芸術 スポーツ	未定
13	12	12月	車座集会③	保健・医療・福祉	未定
14	1	1月	車座集会④	子育て・地域安全	未定
15	1	1月	講師に挑戦②	文化・芸術 スポーツ	未定
16	2	2月	その他イベント	運営委員会	
17	2	2月	その他イベント	団体交流会	つなが輪
18	3	3月	その他イベント	防災・災害救援	3.11を忘れない@へきなん
19	3	3月	車座集会⑤	市民活動・NPO まちづくり	碧南市 補助金申請

※日程欄に記入がないものは、日程が未確定です。詳細はサポプラまでお問い合わせください。

■碧南市との10のお約束 碧南市市民活動センター指定管理者愛知ネット(サポプラ)

【2016年6月2日現在】

1. 職員のスキルアップに努めます

着達
手続

- 年間の研修計画を立てています
- 全スタッフがそれぞれスキル目標を立てています
- 全スタッフがスキル目標に合わせた自己学習をしています
- 相談業務の研修を実施しています
- 情報の整理・掲示・配信の研修を実施しています
- 作業室の機器の研修を実施しています
- 他市町村や関連公益団体が運営するセンターとの交流・視察を行っています
- 愛知ネットが運営する他センターとの連絡強化のための会議を開催致します
- 全スタッフが NPO 法人化手続き等に関する研修を受講します
- 全スタッフが市民団体運営に関する研修を受講します
- 全スタッフがワークショップ等の会議運営の研修を受講します
- 全スタッフの自主的な業務に関する研修受講に関しての支援を行います

2. 市民活動センターの管理運営をしっかりとこなします

着達
手続

- 経費を確実に把握し、無駄の削減に努めます
- ファシリティ・保有財産(保有財)を一覧化します
- それぞれの保有財を定期的に利活用状態を把握します
- 未利用保有財の有効活用を検討します
- 利用中の保有財に関して効果の評価を行います
- 管理業務を常に見直し、地域との共同で利用出来る物を検討します
- 個人情報保護に関する内部規定を設けます
- 毎年、個人情報保護に関して状況を把握して検証します
- 毎週実施するスタッフミーティングでスタッフ間で情報共有を図ります

3. 防災・防犯等の緊急時の対応をおこないます

着達
手続

- リスク管理のチェックシートを作ります
- 防災防犯のリスクの研修を定期的に行います
- チェックシートによるリスク点検を定期的に行います。
- 防災防犯の対策を定期的に全スタッフが学びます
- 社会福祉協議会様が開催される訓練や講座にも、積極的にご協力します
- スタッフに対して災害ボランティアセンターが運営できるスキルの研修を行いません

4. 利用者拡大につとめます

着達
手続

- 各種チラシの収集と配布を積極的に行います
- 情報サイトをこまめに更新をします
- 相談やマッチングのお客様に親身な対応をします
- 講座や集会を必要に応じて開催します
- 登録団体さんと一緒に企画・運営する交流会やまつりを開催します
- 高品質な日頃の相談対応を行います
- 情報誌(広報誌)で、市民活動の面白さを告知します
- 市広報誌の2ページに、継続してセンターからのお知らせを掲載します
- ホームページおよびフェイスブックやメールマガジンを活用します
- あいくるを管理運営する3つの団体で定期的に会議を開催します
- 来館者様がどこへ行けばよいのか迷わないようにします
- あいくるで開催する講座・集会について、テーマや講師および日程を調整します
- 団体交流会およびセンターまつりをあいくるとして開催します

5. 利用者の要望に応えます

着達
手続

- 実施するイベントにて参加者と運営ボランティアへのアンケートを実施します
- アンケート結果は必ずスタッフミーティングあるいは反省会の席で検討します
- 「ご意見箱」を設置します
- ご意見はスタッフミーティングで課題、対策を検討し、回答をすみやかに掲示します
- 対策の検討については早急に碧南市地域協働課のご担当者様にご相談します
- 「ちょっとした要望」、「ささいな苦情」はスタッフが代筆して記入します

6. 市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談をしっかりおこないます

着達
手続

- ボランティア、市民関連情報を提供します
- 各種情報を、県内の各センターや企業の社会貢献部門、公民館や行政から収集します
- 紙媒体はチラシラックへの配架や壁面への掲示を速やかに行います
- みなとも、ホームページ、フェイスブックおよびメーリングリストで配信します
- 個々の団体が求めているニーズに該当する情報がある場合、それぞれ個別に案内します
- 情報が見つからない場合、検索サイトや外部の関連機関に問い合わせして対応します
- 来館時に、個別に相談に応じます
- 受付窓口を相談コーナーとして掲示し、対面して相談を受ける雰囲気を作ります
- 相談カルテを作成し、相談履歴を管理します
- 相談件数、マッチング件数に目標値を決めます

7. 市民活動等に関する活動場所及び設備を提供します

着達
手続

- 施設・設備については、ご予約を承ります。
- 予約状況については、ホームページ上で公開します。
- 予約希望日が重なるようになった場合には、月初日に公開抽選を行いません。
- 備品についてもご来場者様のご要望を聞きながら貸出できるものを増やしていきます。
- 碧南市内、市外近隣の施設の情報をまとめ、ご提供していきます
- 貸出備品をセンター外で利用される場合には、個別に相談させていただきます

8. 市民活動等を担う人材を育成します

着達
手続

- センターまつり等のボランティアとして中学生を対象に募集します
- センターまつり開催を広く一般に告知します
- スキルアップ講座・車座集会を開催します
- 車座集会、スキルアップ講座を合計3回ほど、登録団体に担当していただきます
- 団体企画の車座集会、スキルアップ講座は、センターは集客を担当します
- 参加者募集については、過去の講座・集会への参加者履歴をみて、声掛けを行いません
- みなともや登録団体情報の閲覧をとおして、活動団体を探しだし活動に参加します
- センターまつりに出展していただきます
- 任意団体としての活動を、NPO法人にステップアップしていただきます
- 隣接市外で活動している団体に対して各市センターに登録している団体を紹介します
- 隣接市外で活動している団体に対して各市センターに照会しマッチング支援をします

9. 市民活動団体、NPO等との協働を推進します

着達
手続

- 団体交流会で名刺や情報の交換を通して互いを補完する機能を見つけていただきます
- 団体交流会を拡充し、企業や自治会との連携・協働の場にします
- 市役所の全部門に「みなとも」に参加いただき団体や市民とのマッチングをします
- 補助金・助成金獲得の支援をします
- 車座集会やスキルアップ講座の講師を団体や行政、企業に担っていただきます
- 団体交流会に加えて「あいくる交流会」を実施いたします
- センターまつりを開催します
- 交流会・センターまつりに団体やボランティア、企業・行政が企画から参画します
- 交流会・センターまつりは参加出展団体を募集し、団体が企画を提案していただきます
- 交流会・センターまつりは企画カルテをつくり、相談履歴を管理します
- 実行委員会に、参加団体、企業、行政担当者に積極的に参画していただきます
- 「ミニ愛フェス」的なファンドレイジングイベントを実施します

10. 「まちのコーディネータ」ネットワークを構築します

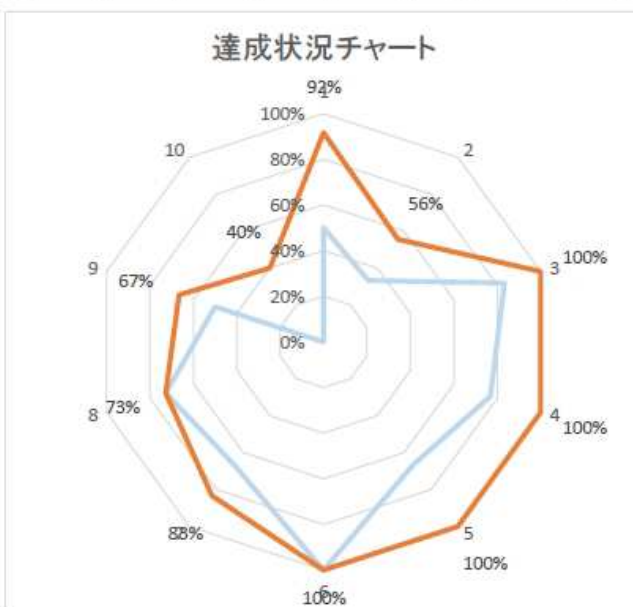
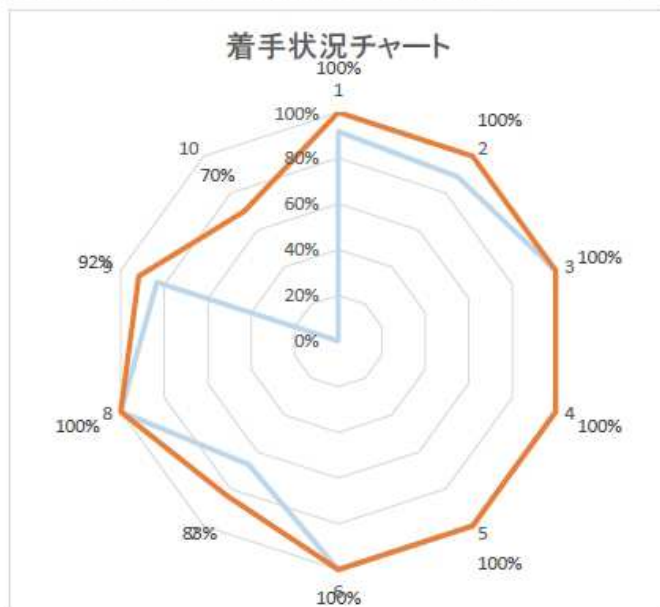
着 達 継
手 成 続

- 「まちのコーディネーターネットワーク構築会議」を組織します
- 碧南市まちのコーディネーターに必要な機能とスキルを検討していきます
- 碧南市まちのコーディネーター養成コースのカリキュラムを検討していきます
- まちの役に立ちたいと考える人を対象にコーディネーター養成コースを開講します
- 碧南市まちのコーディネーターを認定します
- 碧南市まちのコーディネーター会を組織化します
- 定期的に、コーディネーターのスキルアップを図ります
- 行政や自治会、企業と連携し、まちのコーディネーターが活躍する場を探します
- コーディネート業務に携わる(派遣する)際の規約・ルールを決めます
- 実際に、まちのコーディネート業務に携わっていただきます

■お約束達成度確認

お約束達成度確認

No	約束の内容	項目数	2015/7/19 現在				2016/6/2 現在			
			着手数	着手率	達成数	達成率	着手数	着手率	達成数	達成率
1	職員のスキルアップに努めます	12	11	92%	6	50%	12	100%	11	92%
2	市民活動センターの管理運営をしっかりとこなします	9	8	89%	3	33%	9	100%	5	56%
3	防災・防犯等の緊急時の対応をおこないます	6	6	100%	5	83%	6	100%	6	100%
4	利用者拡大につとめます	13	13	100%	10	77%	13	100%	13	100%
5	利用者の要望に応えます	6	6	100%	4	67%	6	100%	6	100%
6	情報の収集及び提供並びに相談をしっかりとこなします	10	10	100%	10	100%	10	100%	10	100%
7	活動場所及び設備の提供をします	6	4	67%	4	67%	5	83%	5	83%
8	市民活動等を担う人材の育成をします	11	11	100%	8	73%	11	100%	8	73%
9	市民活動団体、NPO等との協働を推進します	12	10	83%	6	50%	11	92%	8	67%
10	「まちのコーディネータ」ネットワークを構築します	10	0	0%	0	0%	7	70%	4	40%



■碧南市との10のお約束に対する実施事項

2016年6月9日

碧南市市民活動センター

指定管理者:愛知ネット

※グレーの文字は昨年報告時点までに実施、赤い字はその後継続して実施、太文字は本年実施

1. 職員のスキルアップに努めます

- ・愛知ネット本部予算の中から、センタースタッフ研修予算を毎年度配分しています
- ・外部団体が主催する研修・講座を、スタッフが受講しています(研修予算を参加費や、資料代として利用)
- ・毎年2月頃センター長による個人面談を実施し、各自の目標の振返と次年度の目標設定をしています
- ・年間3、4回(2014年度は7/14、12/15、1/26の3回)、愛知ネット全員研修会を実施し、外部コンサルタントによる種々の講座、ワークショップ、活動報告などの研修を受けています
- ・2014年度、碧南市が主催した会議ファシリテーション講座に、3名のスタッフが受講しました
- ・愛知県内の市民活動センタースタッフを対象とする交流会(毎年1回)に、複数のスタッフが参加しています
- ・愛知ネットが運営を受託している市民活動センターとの連携を強化するため、各センターで担当を決め、定期的に会議を開催しています
- ・毎週実施しているスタッフMetの中で、マニュアルの読み合わせ、相談への対応方法などの確認を通して、スタッフのスキルアップを実施しています
- ・2015年度、まちづくりの担い手講座の運営を碧南市から受託し、担当者1名以外にもスタッフ全員が肯定して講座を受講した
- ・NPO 法人化を含め、関連する相談内容に関するスタッフ研修を開催した
- ・スタッフからの申し出で、他センターで開催する講座や外部の講座に参加することが多くなっている
- ・愛知県内の市民活動センターのスタッフが交流する研修会に複数のスタッフを派遣している

2. 市民活動センターの管理運営をしっかりとこなします

- ・センター運営に関する収支を毎日記録し、毎月および四半期、上期、下期などの予実の推移を確認しています
- ・愛知ネットおよび受託しているセンターでは、外部の監査法人による内部監査を実施しています
- ・在庫管理状況を毎週把握し、無駄な経費が確認できるようにしています
- ・必要な備品を購入する前に、すでに持っているものが活用できないか、ご利用者様から寄付がいただけないか、愛知ネットの他のセンターから借用できないかを、補完の原則に基づき検討します
- ・購入するものについては、必ずセンター長が確認するようにしています
- ・市の備品については、管理台帳を作成し、保管管理しています
- ・個人情報保護に関する内部規定を設けて、個人情報類はカギがかかる棚やパスワードが必要なデバイスに保管しています
- ・毎週スタッフミーティングを開催し、情報共有化を進めています
- ・スタッフのみがアクセスできるインターネットサイトに、「スタッフルーム」を設置し、どこからでも必要な情報を交換できるようにしています
- ・受付においたトレイに、「本日未処理」、「未処理ボックス」、「利用者様へお渡しするもの」の引き出しを設

け、引継ぎ漏れのないようにしています

- ・スタッフ専用のホームページに、「みんなの ToDo」ページを作成し、各自の ToDo が管理できるようにした
- ・利用者様に貸し出しできる備品類を整理し、リストアップしている

3. 防災・防犯等の緊急時の対応をおこないます

- ・緊急時に当番スタッフが対応すべき内容を整理し、マニュアルとしてまとめ、スタッフ全員に周知しました
- ・市内主要施設連絡先リストを作成し、マニュアルにとじ、非常時に利用できるようにしました
- ・愛知ネット各拠点の連絡先一覧(電話、携帯電話、ファックス、衛星携帯電話番号およびメールアドレス、住所)を作成し、マニュアルにとじ、非常時に利用できるようにしました
- ・衛星携帯電話使用マニュアルとしてまとめ、日頃から利用できるようにしています
- ・社会福祉協議会様が主催する碧南市社会福祉協議会防災対策委員会に、委員として参加しています
- ・へきなん福祉センターあいくるで開催される、消火訓練、防災訓練に参加しています
- ・愛知ネットの他のセンターで開催される防災訓練、防災講座などに、運営スタッフとして参加しています

4. 利用者拡大につとめます

- ・他市の市民活動センターに依頼し、開催される講座やイベントのチラシを交換(収集)し、配架、配布しています
- ・愛知ネットが管理運営している他市の市民活動センターが発行する講座・集会などのチラシを、配架、配布しています
- ・県内の主要施設で開催されるイベントで、市民活動団体、ボランティア団体にとって有益なものチラシなどを収集し、配架、配布しています
- ・登録団体様、近隣の各種団体様が開催するイベントのチラシを収集し、配架、配布しています
- ・チラシラックを、来館者様の目につきやすい中庭窓側を中心に配置しています
- ・市民活動センターが主催する車座、スキルなどのイベントについては、チラシ以外に、へきなん市民活動(情報)サイト、市民活動センターのホームページ、市民活動センターのフェイスブックページ、ツイッターおよび、サポプラ通信(市広報誌)、メルマガで告知し、募集しています
- ・上記の告知先以外に、ボランティア募集などについては、NPO法人ボランティア耳より情報局が発行する機関誌や情報サイトに掲載しています
- ・碧南市が設置した、へきなん市民活動(情報)サイトを運営しています
- ・碧南市市民活動センターのホームページを設置し、運営しています
- ・碧南市市民活動センターのフェイスブックページを設置し、運営しています
 - ※フェイスブックページのいいねボタンを押してくださっている方は372名(8月4日現在)です
- ・碧南市市民活動センターのツイッターのアカウントを開設し、運営しています
 - ※ツイッターのフォロワーは、892名(8月4日現在)です
- ・上記サイトについては、2週間以内には更新するように、日頃から運営します
- ・碧南市の広報誌に、隔月で2ページを「サポプラ通信」として制作し、センターからのお知らせや、市民活動の面白さを伝えています
- ・サポプラ通信を発行した月には、印刷したサポプラ通信と、期日が迫ってきているイベント(車座集会、スキルアップ講座、ボランティア募集など)のチラシを同封し、登録団体様、人財バンク登録者様、関連団体様(2015年7月には、263カ所)に送っています

- ・毎月15日前後に、メルマガを発行し(2015年7月には、285通発信)、登録団体様・人財バンク登録者様にとって有益な情報(イベント関連情報、補助金関連情報、センターからお知らせなど)を配信しています
 - ・チラシを配布したりするだけでなく、これまでに車座・スキルなどのイベントに参加していただいた方をデータベース化し、必要に応じて直接電話などでお声かけさせていただいております
 - ・イベント申込みデータベースは、2013年5月23日開催の車座集会からリストアップできるようになっています
 - ・団体活動掲示板コーナーや助成金コーナー、サポプラ活動コーナーを設け、チラシの掲示や、情報サイトに掲載された活動報告などをプリントして掲示しています
 - ・市民活動センターで主催する車座集会、スキルアップ講座を、必要回数以上開催しています
 - ※2014年度は、車座集会:7回、スキルアップ講座:9回、その他イベント:10回
 - ・あいくるへの来館者様がどこへ行けばよいのかわからない時には、受付から出てご案内するように、心がけています
 - ・「3.11を忘れない@へきなん」実行委員会と「へきなん自転車散歩」実行委員会を組織し、それぞれのイベントを開催した
- ※特に自転車散歩の実行委員には、市民団体、企業、市街のNPO(専門家団体)、行政のメンバーが入り、碧南市及び碧南市商工会議所から後援いただくことができた
- ・2015年度は車座集会:9回、スキルアップ講座:6回、その他イベント:5回(まちづくりの担い手講座7回を含めると12回)実施した、その結果利用者は2014年に比較して37%増え、9,271名を数えた。
 - ・社会福祉協議会さんが開催する講座(アイシンの協働開催のさわやかふれあい講座)の講師として、車座集会で講師をしていただいた近藤ひろ子先生を紹介した

5. 利用者の要望に応えます

- ・実施するイベントでは、参加者と運営ボランティアへのアンケートを、毎回実施しています
- ・アンケート結果は必ずスタッフミーティングあるいは反省会の席で検討します
- ・サポプラご意見箱を、現実の箱およびホームページ上の仮想の箱の二つを用意し、ご利用者様からのご意見を集めています
 - ※2015年7月末までで25件のご意見をいただいています
- ・いただいたご意見は、スタッフMetで内容を検討し、必要な対応・対策を施しています
 - ※2014年4月より、以下のご要望にお応えしました
 - ・ルームAを印刷・作業室に移転しました
 - ・低めのパーティションを利用してルームBの明るさを確保しました
 - ・貸し出し用としてLED電気スタンドを購入しました
 - ・プロジェクターとスクリーンとを、館外貸出可(一泊二日)としました
- ・必要に応じて碧南市地域協働課のご担当者様にご相談しています
- ・「ちょっとした要望」、「ささいな苦情」はスタッフが代筆して記入します
- ・スタッフは、日頃から来館者様とお話をするように心がけ、普段からのご要望やご意見を拾うように努めています
- ・こころつくしんかわご利用者様向けに中庭窓側を通路としても利用できるようにしました

6. 市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談をしっかりとこなします

※情報の収集及び提供については、「4. 利用者拡大に努めます」の第1～第18項と重複、割愛します。

・日頃の相談やマッチングについては、目標値を定め対応しています

※2014年度実績は、相談件数477件(目標達成率154%)、マッチング件数140件(達成率112%)

※2015年度目標は、相談件数500件、マッチング件数147件を設定しています

- ・来館者様、登録団体様によく目につくように、受付に「ボランティア・市民活動相談受付」を掲示しています
- ・登録団体、利用者様からの相談についてはカルテを作成し、だれでも対応できる体制を作っています
- ・相談カルテには、継続した対応も記録できるようにしています
- ・相談やマッチングで対応し、記録したカルテは、毎週のスタッフMetで読み合わせ・確認を行い、情報の共有を進めるとともに、相談・マッチング対応の平準化を図っています
- ・登録団体様、ご利用者様からご依頼を受けました件(調査、相談、マッチング)につきましては、スタッフ間での情報共有をすすめ、だれでも回答できる体制を整え、速やかに回答するように努めています

7. 市民活動等に関する活動場所及び設備を提供します

- ・市民活動センターの施設・設備・備品については、予約状況をホームページ上で公開し、ご予約を受けています
- ・登録団体様からご要望があり、地域協働課と協議のうえ、プロジェクターおよびスクリーンについてはセンター外へ持ち出して利用できるように、ルール、帳票を準備し対応しました
- ・ご利用者様からのご要望(子供の声がうるさく、会議の音が聞こえない)を受け、ルームAを印刷・作業室に移しました
 - ※ルームBをご利用の場合には、「会議中です、静かに」という掲示を通路に出すようにしました

8. 市民活動等を担う人材を育成します

- ・2015年度、あいくるまつりのボランティアさんとして、新川中学校の生徒さんにも参加していただきました
- ・2014年度には、登録団体様の方(4名)にスキルアップ講座、車座集会の講師を担っていただきました
- ・2015年度は、7月末までに3名の方に、スキルアップ講座の講師を担っていただきました
- ・2014年度には、登録団体様の自主講座(あったかハウス:あったか勉強会)の開催を支援しました
- ・みなともの利用を活性化させるために、みなとも内にアップされた登録団体様の活動報告をレイアウトを編集し、プリントして、団体活動掲示板に掲示しています
- ・2015年度は、まちづくりの担い手育成講座「楽しい会議による、楽しいまちづくり」を受託し、企画・運営の段階から参画しています
- ・NPO法人としての申請に関する相談を、これまでに3件受け付けています
- ・刈谷市民活動センター、大府市民活動センターと連携し、団体相互の連携を支援しています
- ・「講師に挑戦」というタイトルのスキルアップ講座を開講し、登録団体の皆さんに講座を開催する技能を習得していただいた

9. 市民活動団体、NPO等との協働を推進します

- ・登録団体様、人財バンク登録者様を対象に、団体交流会を開催しました
- ・2014年度の団体交流会では、それぞれの団体の「できること」や「してほしいこと」をまとめるワークショップを通して、相互の機能補完に気づいていただきました

- ・2014年12月9日に、こころつくしんかわさんとの協働企画講座「楽しい子育て、がんばらない子育て」を開催しました
- ・2015年度、こころつくしんかわさんとの協働企画講座として親子を対象とした「防災豆知識講座」を、9月5日に開催するよう準備しています
- ・2014年度は、登録団体様と一緒に「3.11を忘れない@へきなん」実行委員会を組織し、実行委員会で内容を検討したうえ、スキルアップ講座「キャンドルづくり」、車座集会「南海トラフ巨大地震～碧南市の備え～」、東北支援物産市、防災炊き出し食の提供、キャンドルナイトやゴスペルコンサートを開催しました
- ・「3.11を忘れない@へきなん」イベントについては、今後とも継続して開催する方針を、実行委員会で取り決めました
- ・自転車散歩の実行委員には、市民団体、企業、市街のNPO(専門家団体)、行政のメンバーが入り、碧南市及び碧南市商工会議所から後援いただくことができた
※「3.11を忘れない@へきなん」同様、次年度以降も継続して実施・開催していくことを、実行委員会で取り決めた

10. 「まちのコーディネータ」ネットワークを構築します

- ・碧南市地域協働課から受託した、まちづくりの担い手育成講座「楽しい会議による、楽しいまちづくり」の目的が、まちのコーディネーター育成と合致していることを、地域協働課とサポプラとで相互に確認することができた
- ・2014年度碧南市が開催したまちづくりの担い手講座の開催を、2015年度はサポプラで受託した
- ・7回のまちづくりの担い手講座には、できる限りスタッフも参加し、技能の習得を目指した
- ・まちづくりの担い手講座を受けた受講生に働きかけ、講座終了後「碧南ファシリテーターズ」という市民団体を組織した
- ・碧南ファシリテーターズは、定期的(1回/月程度)に Met を開催し、スキルアップを継続していくことになった
- ・2016年度は、まちづくりの担い手育成を継続したいとの碧南市の意向を受け、スキルアップ講座の位置づけの中で「まちづくりの担い手講座」を、2015年度とは違う講師:平野先生に5回の連続講座を委託した
- ・平野先生と協議し、2016年度はファシリテーション技術を中心に抗議していただき、2017年度にはマッチング・コーディネートの技術が習得できるようにし、まちのコーディネーターの育成を目指したいと話している

以上